

## アンケート集計結果一覧

貴施設について教えてください。

Q3. 病院の開設者を教えてください。(施設数)

社会保険 関係団体	国	公的医療 機関	医療法人	個人	その他	無回答	総計
8	40	96	68	2	48	1	263

Q4. 病床数を教えてください。(施設数)

200床未満	200～499床	500～899床	900床以上	総計
52	131	61	19	263

Q5. 平成29年度感染防止対策加算の算定状況を教えてください。(施設数)

加算1を算定して いる	加算2を算定して いる	算定していない	無回答	総計
209	48	5	1	263

細菌検査について教えてください。

Q6. 培養検査・感受性検査の実施状況について教えてください。(%)

	全て院内で 実施	細菌培養は 院内で実施 し、感受性 検査は外注	細菌培養 も感受性 検査も外 注	細菌培養も 感受性検査 も実施して いない	その他	無回答
全体 (n=263)	66.5	1.9	26.2	1.5	3.4	0.4
病床数による分類						
200床未満 (n=52)	21.2	0.0	69.2	3.8	5.8	0.0
200～499床 (n=131)	70.2	3.1	22.1	1.5	3.1	0.0
500～899床 (n=61)	88.5	1.6	6.6	0.0	3.3	0.0
900床以上 (n=19)	94.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
加算による分類						
加算1 (n=209)	77.5	2.4	16.3	1.4	1.9	0.5
加算2 (n=48)	25.0	0.0	64.6	0.0	10.4	0.0
加算なし (n=5)	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q7. 耐性機構に関する検査の実施状況について教えてください。(%)

	PCRなどの 耐性遺伝子 検出を実施	上記(左記) に加えて遺 伝子配列ま で決定	表現型を 基にした 検査を実 施	実施してい ない	その他	無回答
全体 (n=263)	11.4	0.4	62.7	19.8	0.0	5.7
病床数による分類						
200床未満 (n=52)	9.6	0.0	40.4	42.3	0.0	7.7
200～499床 (n=131)	6.9	0.0	66.4	20.6	0.0	6.1
500～899床 (n=61)	9.8	1.6	78.7	4.9	0.0	4.9
900床以上 (n=19)	52.6	0.0	47.4	0.0	0.0	0.0
加算による分類						
加算1 (n=209)	13.4	0.5	68.4	12.9	0.0	4.8
加算2 (n=48)	4.2	0.0	41.7	45.8	0.0	8.3
加算なし (n=5)	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

Q8. 院内感染発生が疑われる際の菌株同一性検査の実施状況について教えてください。(%)

	自施設で POT 法など PCR に基づ く方法を実 施	自施設で パルスフィ ールドゲ ル電気泳 動を実施	薬剤感受 性検査成 績のみで 推定	他施設 に依頼	外注	実施し ていな い	無回答
全体 (n=263)	16.3	1.9	39.2	6.8	19.0	11.8	4.9
病床数による分類							
200 床未満 (n=52)	0.0	0.0	42.3	0.0	25.0	25.0	7.7
200~499 床 (n=131)	7.6	0.0	44.3	10.7	21.4	11.5	4.6
500~899 床 (n=61)	31.1	3.3	37.7	6.6	13.1	3.3	4.9
900 床以上 (n=19)	73.7	15.8	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0
加算による分類							
加算 1 (n=209)	20.6	2.4	36.8	8.6	20.1	7.7	3.8
加算 2 (n=48)	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	25.0	8.3
加算なし (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q9. 他施設(大学や研究所等)との連携状況について教えてください。(%)

	頻繁に連 携	必要に応 じて連携	連携してい ない	わからない	その他	無回答
全体 (n=263)	8.0	74.9	14.8	0.4	1.1	0.4
病床数による分類						
200 床未満 (n=52)	3.8	69.2	23.1	0.0	1.9	1.9
200~499 床 (n=131)	7.6	74.8	16.0	0.0	1.5	0.0
500~899 床 (n=61)	6.6	82.0	8.2	1.6	0.0	0.0
900 床以上 (n=19)	26.3	68.4	5.3	0.0	0.0	0.0
加算による分類						
加算 1 (n=209)	8.1	77.5	12.0	0.5	1.9	0.0
加算 2 (n=48)	8.3	64.6	25.0	0.0	0.0	2.1
加算なし (n=5)	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

感染対策における職員の教育・指導について教えてください。

Q10. 貴施設では、ICT が耐性菌の蔓延予防のために、環境の清掃の重要性を清掃職員(または外注清掃業者)に教育していますか。(%)

	はい	いいえ
全体 (n=263)	80.6	19.4
病床数による分類		
200床未満 (n=52)	75.0	25.0
200～499床 (n=131)	79.4	20.6
500～899床 (n=61)	83.6	16.4
900床以上 (n=19)	94.7	5.3
加算による分類		
加算1 (n=209)	85.2	14.8
加算2 (n=48)	60.4	39.6
加算なし (n=5)	80.0	20.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0

Q11. 貴施設では、ICT が食肉の取り扱いや調理の仕方について、厨房の職員に指導をしていますか。(%)

	はい	いいえ
全体 (n=263)	26.2	73.8
病床数による分類		
200床未満 (n=52)	21.2	78.8
200～499床 (n=131)	23.7	76.3
500～899床 (n=61)	32.8	67.2
900床以上 (n=19)	36.8	63.2
加算による分類		
加算1 (n=209)	28.2	71.8
加算2 (n=48)	16.7	83.3
加算なし (n=5)	20.0	80.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0

多剤耐性グラム陰性桿菌の接触予防策について、貴施設のルールを教えてください。

Q12. 多剤耐性グラム陰性桿菌の感染症と定着(保菌状態)を区別して、接触予防策を行っていますか。(%)

	感染も定着も同等の接触予防策を実施	感染症のみ接触予防策を実施	感染症や定着とは異なる定義(多量排菌など)で決めている	耐性菌により異なる
全体 (n=263)	70.0	8.7	12.2	9.1
病床数による分類				
200床未満 (n=52)	51.9	15.4	15.4	17.3
200～499床 (n=131)	70.2	9.2	12.2	8.4
500～899床 (n=61)	80.3	4.9	9.8	4.9
900床以上 (n=19)	84.2	0.0	10.5	5.3
加算による分類				
加算1 (n=209)	74.6	4.8	12.0	8.6
加算2 (n=48)	50.0	27.1	12.5	10.4
加算なし (n=5)	60.0	0.0	20.0	20.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0

Q12. 多剤耐性グラム陰性桿菌の感染症と定着(保菌状態)を区別して、接触予防策を行っていますか。(該当する耐性菌、施設数)

	ESBLのみ	CREのみ	MDRP + CRE	ESBL + MDRA + MDRP	MDRA + MDRP + CRE	ESBL + MDRA + MDRP + CRE
全体	6	1	2	1	9	4

Q13. 基質特異性拡張型 βラクタマーゼ(ESBL)産生菌について。(%)

	ルールがない	個人防護具 を使用し、個 室を使用す る	個人防護具 を使用し、多 床室も可であ る	接触予防策 は行わない	無回答
全体 (n=263)	1.5	16.3	75.3	6.1	0.8
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	0.0	11.5	80.8	7.7	0.0
200～499床 (n=131)	1.5	15.3	77.9	4.6	0.8
500～899床 (n=61)	3.3	19.7	68.9	8.2	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	26.3	63.2	5.3	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	1.4	17.7	74.6	5.3	1.0
加算2 (n=48)	2.1	10.4	79.2	8.3	0.0
加算なし (n=5)	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

Q14. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)について。(%)

	ルールがない	個人防護具 を使用し、個 室を使用す る	個人防護具 を使用し、多 床室も可であ る	接触予防策 は行わない	無回答
全体 (n=263)	4.9	83.7	10.6	0.4	0.4
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	7.7	75.0	17.3	0.0	0.0
200～499床 (n=131)	3.8	84.7	10.7	0.8	0.0
500～899床 (n=61)	6.6	85.2	8.2	0.0	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	94.7	0.0	0.0	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	3.3	86.6	9.1	0.5	0.5
加算2 (n=48)	10.4	72.9	16.7	0.0	0.0
加算なし (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

Q15. 多剤耐性緑膿菌(MDRP)について。(%)

	ルールがな い	個人防護具 を使用し、個 室を使用す る	個人防護具 を使用し、多 床室も可であ る	接触予防策 は行わない	無回答
全体 (n=263)	2.3	86.3	9.9	0.8	0.8
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	3.8	76.9	19.2	0.0	0.0
200～499床 (n=131)	1.5	89.3	7.6	0.8	0.8
500～899床 (n=61)	3.3	85.2	9.8	1.6	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	94.7	0.0	0.0	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	1.0	90.0	7.2	1.0	1.0
加算2 (n=48)	6.3	75.0	18.8	0.0	0.0
加算なし (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

Q16. 多剤耐性アシネトバクター(MDRA)について。(%)

	ルールがな い	個人防護具 を使用し、個 室を使用す る	個人防護具 を使用し、多 床室も可であ る	接触予防策 は行わない	無回答
全体 (n=263)	6.1	85.6	7.2	0.8	0.4
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	9.6	73.1	15.4	1.9	0.0
200～499床 (n=131)	6.9	85.5	6.9	0.8	0.0
500～899床 (n=61)	3.3	93.4	3.3	0.0	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	94.7	0.0	0.0	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	3.3	90.9	4.8	0.5	0.5
加算2 (n=48)	16.7	66.7	14.6	2.1	0.0
加算なし (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

多剤耐性グラム陰性桿菌に対する接触予防策を実施している施設にお聞きます。接触予防策を行う期間に関する取り決め(解除の基準)について貴施設のルールを教えてください。

Q17. 基質特異性拡張型βラクタマーゼ(ESBL)産生菌について。(%)

	ルールがない	接触予防策は解除しない	培養検査で陰性化を確認し解除する	臨床症状が改善したら解除する	無回答
全体 (n=263)	12.9	22.1	40.3	22.1	0.8
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	17.3	21.2	34.6	23.1	0.0
200～499床 (n=131)	9.9	26.7	42.0	21.4	0.8
500～899床 (n=61)	16.4	18.0	36.1	23.0	0.0
900床以上 (n=19)	10.5	5.3	57.9	21.1	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	11.0	23.9	40.7	22.0	1.0
加算2 (n=48)	18.8	14.6	37.5	25.0	0.0
加算なし (n=5)	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q18. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)について。(%)

	ルールがない	接触予防策は解除しない	培養検査で陰性化を確認し解除する	臨床症状が改善したら解除する	無回答
全体 (n=263)	10.6	46.4	37.6	3.8	1.5
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	15.4	36.5	42.3	3.8	1.9
200～499床 (n=131)	8.4	48.9	37.4	4.6	0.8
500～899床 (n=61)	14.8	45.9	36.1	3.3	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	57.9	31.6	0.0	10.5
加算による分類					
加算1 (n=209)	8.1	50.7	36.8	2.9	1.4
加算2 (n=48)	18.8	29.2	41.7	8.3	2.1
加算なし (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



Q19. 多剤耐性緑膿菌(MDRP)について。(%)

	ルールがな い	接触予防策 は解除しない	培養検査で 陰性化を確 認し解除する	臨床症状が 改善したら解 除する	無回答
全体 (n=263)	7.2	47.5	41.1	3.4	0.8
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	13.5	40.4	40.4	3.8	1.9
200～499床 (n=131)	5.3	49.6	41.2	3.8	0.0
500～899床 (n=61)	8.2	45.9	42.6	3.3	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	57.9	36.8	0.0	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	5.3	52.2	39.7	2.4	0.5
加算2 (n=48)	14.6	29.2	45.8	8.3	2.1
加算なし (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

Q20. 多剤耐性アシネトバクター(MDRA)について。(%)

	ルールがな い	接触予防策 は解除しない	培養検査で 陰性化を確 認し解除する	臨床症状が 改善したら解 除する	無回答
全体 (n=263)	10.3	48.3	37.3	3.4	0.8
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	13.5	40.4	38.5	5.8	1.9
200～499床 (n=131)	9.9	48.9	37.4	3.8	0.0
500～899床 (n=61)	11.5	49.2	37.7	1.6	0.0
900床以上 (n=19)	0.0	63.2	31.6	0.0	5.3
加算による分類					
加算1 (n=209)	8.1	52.6	36.8	1.9	0.5
加算2 (n=48)	18.8	31.3	37.5	10.4	2.1
加算なし (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

環境管理について教えてください。

Q21. 高頻度接触箇所の日常清掃には何を用いていますか。(複数回答可)(%)

回答	1種類使用	2種類使用	3種類使用	4種類使用	日常清掃では消毒薬を使用していない	無回答
全体 (n=263)	46.4	30.8	14.1	3.4	4.9	0.4
病床数による分類						
200床未満 (n=52)	51.9	25.0	13.5	1.9	5.8	1.9
200～499床 (n=131)	45.0	33.6	13.0	4.6	3.8	0.0
500～899床 (n=61)	45.9	32.8	13.1	3.3	4.9	0.0
900床以上 (n=19)	42.1	21.1	26.3	0.0	10.5	0.0
加算による分類						
加算1 (n=209)	46.4	31.1	13.9	3.8	4.3	0.5
加算2 (n=48)	45.8	27.1	16.7	2.1	8.3	0.0
加算なし (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1種類使用	施設数
低水準消毒薬 (第四級アンモニア塩、両性界面活性剤)	77
次亜塩素酸ナトリウム希釈液	6
アルコール	15
ペルオキシ-硫酸水素カリウム配合環境除菌・洗浄剤 (ルビスタ)	24
過酸化水素水	0
日常清掃では消毒薬を使用していない	13

2種類使用	施設数
低水準消毒薬 + アルコール	20
低水準消毒薬 + ルビスタ	21
低水準消毒薬 + 次亜塩素酸	16
低水準消毒薬 + 過酸化水素水	1
次亜塩素酸 + アルコール	12
次亜塩素酸 + ルビスタ	1
次亜塩素酸 + 過酸化水素水	0
アルコール + ルビスタ	6
アルコール + 過酸化水素水	3
ルビスタ + 過酸化水素水	1

3種類使用	施設数
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール	17
低水準 + 次亜塩素酸 + ルビスタ	4
低水準 + 次亜塩素酸 + 過酸化水素水	1
低水準 + アルコール + ルビスタ	11
低水準 + アルコール + 過酸化水素水	1
次亜塩素酸 + アルコール + ルビスタ	2
次亜塩素酸 + アルコール + 過酸化水素水	1

4種類使用	施設数
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール + ルビスタ	7
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール + 過酸化水素水	1
低水準+アルコール+ルビスタ+過酸化水素水	1

Q22. 高頻度接触箇所以外の日常清掃には何を用いていますか。(複数回答可)(%)

	1種類使用	2種類使用	3種類使用	4種類使用	日常清掃では消毒薬を使用していない	無回答
全体 (n=263)	47.9	17.9	7.2	2.3	24.3	0.4
病床数による分類						
200床未満 (n=52)	51.9	11.5	3.8	0.0	30.8	1.9
200～499床 (n=131)	49.6	18.3	7.6	1.5	22.9	0.0
500～899床 (n=61)	42.6	21.3	4.9	6.6	24.6	0.0
900床以上 (n=19)	42.1	21.1	21.1	0.0	15.8	0.0
加算による分類						
加算1 (n=209)	46.9	18.7	8.1	2.9	23.0	0.5
加算2 (n=48)	52.1	14.6	4.2	0.0	29.2	0.0
加算なし (n=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1種類使用	施設数
低水準消毒薬 (第四級アンモニア塩、両性界面活性剤)	101
次亜塩素酸ナトリウム希釈液	4
アルコール	6
ペルオキシ-硫酸水素カリウム配合環境除菌・洗浄剤 (ルビスタ)	13
過酸化水素水	2
日常清掃では消毒薬を使用していない	64

2種類使用	施設数
低水準消毒薬 + アルコール	18
低水準消毒薬 + ルビスタ	13
低水準消毒薬 + 次亜塩素酸	8
低水準消毒薬 + 過酸化水素水	0
次亜塩素酸 + アルコール	5
次亜塩素酸 + ルビスタ	0
次亜塩素酸 + 過酸化水素水	1
アルコール + ルビスタ	2
アルコール + 過酸化水素水	0
ルビスタ + 過酸化水素水	0

3種類使用	施設数
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール	8
低水準 + 次亜塩素酸 + ルビスタ	2
低水準 + 次亜塩素酸 + 過酸化水素水	0
低水準 + アルコール + ルビスタ	5
低水準 + アルコール + 過酸化水素水	2
次亜塩素酸 + アルコール + ルビスタ	1
次亜塩素酸 + アルコール + 過酸化水素水	1

4種類使用	施設数
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール + ルビスタ	5
低水準 + 次亜塩素酸 + アルコール + 過酸化水素水	1
低水準+アルコール+ルビスタ+過酸化水素水	0

Q23. シンクなど湿潤環境の日常清掃に一定のルールを設けていますか。(%)

	はい	いいえ	無回答
全体 (n=263)	64.6	34.6	0.8
病床数による分類			
200床未満 (n=52)	53.8	44.2	1.9
200～499床 (n=131)	61.1	38.2	0.8
500～899床 (n=61)	72.1	27.9	0.0
900床以上 (n=19)	94.7	5.3	0.0
加算による分類			
加算1 (n=209)	68.9	30.6	0.5
加算2 (n=48)	50.0	47.9	2.1
加算なし (n=5)	20.0	80.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0



Q25. 蓄尿(自動尿量測定器含む)の管理に ICT が関与していますか。(%)

	はい	いいえ	無回答
全体 (n=263)	58.2	41.1	0.8
病床数による分類			
200 床未満 (n=52)	59.6	40.4	0.0
200～499 床 (n=131)	54.2	45.0	0.8
500～899 床 (n=61)	60.7	37.7	1.6
900 床以上 (n=19)	73.7	26.3	0.0
加算による分類			
加算 1 (n=209)	62.7	36.4	1.0
加算 2 (n=48)	41.7	58.3	0.0
加算なし (n=5)	40.0	60.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0

器材、環境、生体の消毒について教えてください。

Q 26. 尿器の洗浄、消毒法について教えてください。(%)

	フラッシュャー ディスインフ ェクタ(ベッド パンウォッシ ャー)	ウォッシュャー ディスインフ ェクタ	浸漬消毒	洗浄のみ	わからない
全体 (n=263)	54.8	8.4	31.2	3.0	2.7
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	40.4	7.7	42.3	3.8	5.8
200～499床 (n=131)	45.8	10.7	36.6	4.6	2.3
500～899床 (n=61)	72.1	6.6	19.7	0.0	1.6
900床以上 (n=19)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加算による分類					
加算 1 (n=209)	62.2	9.1	25.8	1.4	1.4
加算 2 (n=48)	29.2	6.3	50.0	8.3	6.3
加算なし (n=5)	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q 27. 便器の洗浄、消毒法について教えてください。(%)

	フラッシュャー ディスインフ ェクタ(ベッド パンウォッシ ャー)	ウォッシュャー ディスインフ ェクタ	浸漬消毒	洗浄のみ	わからない
全体 (n=263)	53.6	7.6	29.7	6.5	2.7
病床数による分類					
200床未満 (n=52)	42.3	7.7	38.5	5.8	5.8
200～499床 (n=131)	43.5	9.2	35.1	9.9	2.3
500～899床 (n=61)	70.5	6.6	19.7	1.6	1.6
900床以上 (n=19)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加算による分類					
加算 1 (n=209)	60.3	8.1	25.4	4.8	1.4
加算 2 (n=48)	31.3	6.3	43.8	12.5	6.3
加算なし (n=5)	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



Q28. 開封した消毒薬の使用期限を定めていますか。(%)

	希釈液は定めているが、原液は定めていない	希釈液、原液とも定めている	希釈液、原液とも定めていない	わからない
全体 (n=263)	9.9	87.5	0.8	1.9
病床数による分類				
200床未満 (n=52)	21.2	76.9	0.0	1.9
200～499床 (n=131)	8.4	87.8	0.8	3.1
500～899床 (n=61)	4.9	93.4	1.6	0.0
900床以上 (n=19)	5.3	94.7	0.0	0.0
加算による分類				
加算1 (n=209)	6.2	91.4	1.0	1.4
加算2 (n=48)	22.9	72.9	0.0	4.2
加算なし (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0



Q30. 感染症診療の助言をもらうことができる専門家や医療機関は、貴施設と具体的にどのような関連がありますか。その他。

---

1 回／週の感染症内科医出張医 適宜メールでやり取り

医局つながり

院内研修会で招聘した方やその方とのつながりを活用

外注検査センターの抗菌薬臨床試験指導者

管轄保健所

国立国際医療研究センターへコンサルテーションできるシステムがある

正式な契約ではないがコンサルタントに相談

精神科の感染制御ネットワーク

他施設の感染症専門医に感染対策委員会の外部委員を任命している

非常勤医師に助言を受けている。

病院が医師と直接委託契約

---

アウトブレイク時の対応について教えてください。

Q31. 貴施設では薬剤耐性グラム陰性桿菌のアウトブレイクの基準が決められていますか。(%)

	はい	いいえ	無回答
全体 (n=263)	88.2	11.4	0.4
病床数による分類			
200床未満 (n=52)	84.6	15.4	0.0
200～499床 (n=131)	87.0	13.0	0.0
500～899床 (n=61)	91.8	6.6	1.6
900床以上 (n=19)	94.7	5.3	0.0
加算による分類			
加算1 (n=209)	92.8	6.7	0.5
加算2 (n=48)	68.8	31.3	0.0
加算なし (n=5)	80.0	20.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0

Q 32. 貴施設では厚生労働省の通知にあるように、多剤耐性グラム陰性桿菌(MDRA、MDRP、CRE)が検出された時には、保菌も含め1例目でアウトブレイクに準じた対策をとっていますか。(%)

	はい	いいえ	無回答
全体 (n=263)	81.4	18.3	0.4
病床数による分類			
200床未満 (n=52)	76.9	23.1	0.0
200～499床 (n=131)	77.9	21.4	0.8
500～899床 (n=61)	96.7	3.3	0.0
900床以上 (n=19)	68.4	31.6	0.0
加算による分類			
加算1 (n=209)	85.2	14.4	0.5
加算2 (n=48)	70.8	29.2	0.0
加算なし (n=5)	20.0	80.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0



積極的監視培養について教えてください。

Q34. 貴施設では、万一多剤耐性グラム陰性桿菌のアウトブレイクが発生した場合、地域連携を活用して援助を求める仕組みはありますか。(%)

	はい	いいえ
全体 (n=263)	75.3	24.7
病床数による分類		
200床未満 (n=52)	76.9	23.1
200～499床 (n=131)	76.3	23.7
500～899床 (n=61)	72.1	27.9
900床以上 (n=19)	73.7	26.3
加算による分類		
加算1 (n=209)	74.6	25.4
加算2 (n=48)	81.3	18.8
加算なし (n=5)	40.0	60.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0

Q35. 平時より検出状況を把握している多剤耐性グラム陰性桿菌をすべて選択して下さい。(%)

	平時よりいずれかのグラム陰性桿菌の検出状況を把握している	平時は把握していない	その他	無回答
全体 (n=263)	83.3	16.0	0.4	0.4
病床数による分類				
200床未満 (n=52)	75.0	25.0	0.0	0.0
200～499床 (n=131)	81.7	17.6	0.0	0.8
500～899床 (n=61)	90.2	8.2	1.6	0.0
900床以上 (n=19)	94.7	5.3	0.0	0.0
加算による分類				
加算1 (n=209)	86.6	12.4	0.5	0.5
加算2 (n=48)	75.0	25.0	0.0	0.0
加算なし (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0



Q36. 平時より積極的監視培養を実施しているものをすべて選択して下さい。(%)

	いずれかを対象 に平時より積極 的監視培養を実 施している	平時は実施して いない	その他	無回答
全体 (n=263)	54.8	41.8	3.4	0.0
病床数による分類				
200床未満 (n=52)	48.1	48.1	3.8	0.0
200～499床 (n=131)	45.0	51.9	3.1	0.0
500～899床 (n=61)	68.9	26.2	4.9	0.0
900床以上 (n=19)	94.7	5.3	0.0	0.0
加算による分類				
加算1 (n=209)	57.4	39.7	2.9	0.0
加算2 (n=48)	43.8	50.0	6.3	0.0
加算なし (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0

Q36. 平時より積極的監視培養を実施しているものをすべて選択して下さい。その他。(%)

	海外から 帰国もしくは は転院し てきた患 者さん	国内の他 の医療機 関から転 院してきた 患者さん	以前に対 象となる菌 が検出さ れた患者 さん	ICUもしくは NICU に入室す る患者さん	救命救急 センターか ら入院とな る患者さん	その他
全体 (n=144)	38.2	31.3	56.9	56.3	13.9	6.3
病床数による分類						
200床未満 (n=25)	20.0	36.0	80.0	8.0	12.0	8.0
200～499床 (n=59)	32.2	40.7	64.4	45.8	3.4	6.8
500～899床 (n=42)	47.6	23.8	35.7	85.7	14.3	7.1
900床以上 (n=18)	61.1	11.1	50.0	88.9	50.0	0.0
加算による分類						
加算1 (n=120)	40.8	28.3	51.7	65.8	19.2	5.0
加算2 (n=21)	28.6	52.4	85.7	4.8	9.5	14.3
加算なし (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0